

江東未来会議  
第1分科会（子育て・教育分野）  
第1回 議事概要

日時：平成19年9月26日（水）20:05～20:45

場所：江東区教育センター1階大研修室

参加人数：27人

1．本日の会議内容について

コーディネーターの高重氏より、本日のワークショップで行うこととして、自己紹介、次回の討議の内容・進め方、日程調整の3点であることの説明があった。

2．自己紹介

高重コーディネーター

- ・江東区の好きな所、または、こんな所が問題だと思っていることについて、お話いただきながら、簡単に自己紹介をお願いしたい。

参加者

- ・江東区に住み始めて1年にならないので、好きなところがわからないことが、この会議に参加することを決めた動機である。問題だと思うことは最近、命が軽んじられている事件が多ので、それを解決するために何をしたらよいのかを考えたい。

参加者

- ・心を育てることが基本であると思っており、皆さんのお話を聞きたいと思ったことが参加の動機である。

参加者

- ・2歳の子どもの育児中である。江東区には公園や水辺がたくさんあり、子どもが多いところがいいところだと思う。

参加者

- ・江東区に3年前に引っ越してきて、2歳と0歳の子どもは、二人とも江東区生まれである。1万人を超える区民人口の増加の内、4,000人が子どもであり、その子どものための環境や教育には大変興味があり、それらについて意見を述べたいと思う。

参加者

- ・生まれてから江東区に住み続けているが、公園や緑が多いのが良いと思う。最近は、公園で遊んでいる子どもの姿がなく、サラリーマンがたばこを吸っていたり、自転車置き場になっているので、有効な使い方はできないかと思っている。

参加者

- ・ 緑と水辺があることが一番好きである。

参加者

- ・ 江東区は、水辺が近くにあり、ほっとできる地域である。そのような気持ちが広まればよいと思う。

参加者

- ・ 散歩が好きなので、江東区は散歩するところが多くて良いと思う。

参加者

- ・ 江東区に来てから約1年がたつ。1歳3ヵ月の子どもを保育園に預けようと思ったら、空きがなかった。また、教育費用について、大学まで公立を選択しても卒業までに2,000万円位がかかるという現実について将来不安がある。

参加者

- ・ 江東区に住んで50年以上になる。現在、第三砂町中学校後援会という組織の会長を務めている。地域の子どもたちの幸せを願っている。

参加者

- ・ 未来の子どもたちのために自分の思いを述べたいと思う。

参加者

- ・ 江東区に住んで50年になり、江東区のために何かをしたいと思っていたところ、区報に「田んぼの学校」スタッフ募集がのっており参加した。そこに参加した子どもたちといっしょに、稲を育てているが、子どもたちが、稲とともに育てている姿をみて、こうしたものがあちこちがあればよいと思っているところである。

参加者

- ・ 2歳、6歳の子どもがおり、ふたりとも苦労して保育園に入れた。そのような苦労をなくすために、これから保育園に子どもを預ける世代のために意見を述べておくことが必要と思った。

参加者

- ・ 江東区に住んで10年になるが、都心に近く、下町と新しさが融合しているところが良いと思っている。3児の親であることから教育には大変関心があり参加した。

参加者

- ・ 江東区に住んで12年になる。子育て支援ボランティアをしている。江東区は、マンションが多くなり、下町というわりには、人のふれあいが少ないところもあるように思う。子どもが育つためには、ふれあいが必要と思い参加した。

参加者

- ・ 小学校1年と2年の子どもがいるが、現在、自分は東北に単身赴任している。会議参加者に選定していただいたので、可能な限り出席したいと考えている。江東区は暖かい人

がたくさん住んでいるところが好きなところである。

参加者

- ・昭和45年の基本構想の時に比べると、住み良い江東区になったと思っている。交通網が整備され、環境もよくなってきた。しかし、子どもを取り巻く環境については、年々悪くなっていると思う。

参加者

- ・江東区のエコリーダーをしており、子どもたちとともに、ものの大切さ、命の大切さを学んでいる。江東区には50年住んでいるが、小名木川が良いと思う。

参加者

- ・江東区に住んで43年になる。子どもは2人とも江東区の公立小中学校を卒業した。今、教育面で心配しているのは、地域外から通学してくる子どもや地域外に通学する子どもが多くなっていることである。地域が大事にされないところでは、良い教育はできないと思っており、学校を中心とした地域をどのように作れるのかについて考えたい。また、子育て関係についても意見を述べていきたい。

参加者

- ・環境ボランティアをしている。子育ては終わっているが、教育や子育てについて考えていきたい。

参加者

- ・0歳と7歳の子どもがいる。保育園の待機児数は、江東が誇れないものだと思う。これを解決しないと子どもを健全に育成できないと思う。学童クラブなどにも影響を与えており子どもを育てる社会資源をきちんと整えていきたいと思っている。また、障害を持つ子どもの数も増えているため、教室をカーテンで区切りその中で教育をしている状況から、特別支援教育についても考えていきたい。

参加者

- ・30年間江東区に住んでおり、何か江東区の役に立つことができないかと思って参加した。

参加者

- ・50年以上江東区に住んでいる。子どもたちと環境について学ぶ、エコックルの環境学習ボランティアをしている。

参加者

- ・建築学部の学生である。学童保育のアルバイトをしている関係から、教育分野に参加したいと考えた。

参加者

- ・江東区には、子どもは7年前、自分は2年前から住んでおり、孫ができて3世代で江東区に住むことになるので、区のために役立つことをしたいと考えて参加した。江東区は、古いところと新しいところが融合し、活気のあるところが良いと思う。

参加者

- ・文化財保護の委員をしている関係から、本会議に出席することを薦められ参加することにした。

参加者

- ・江東区には 30 年住んでおり、子どもは江東区の学校を卒業して大学、高校生になった。江東区には、心のつながり、下町人情があるので住み続けたのではないかと思う。教育分野は、目に見えないところについて考えていかなければいけない分野であると考えている。

### 3．次回の討議内容について

コーディネーター高重氏より、今回は、江東区における子育てや教育における将来像について討議することが提案された。また、進め方は、個人が考える将来像について、付箋紙に記入し、同じような考え方をまとめていく方法をとることが示された。

### 4．次回スケジュールについて

第2・3回の日程調整を行い、開催候補日を以下の通り決定した。

なお、開催時間については、18:30 開始が提案されたが、本会議参加者の参加可能性の状況をみたらうで、今後とも 19:00 を開始時間とすることで合意を得た。

< 次回以降のスケジュール調整結果 >

第2回 第1候補：10月11日（木）19:00～21:00、第2候補：10月17日（水）

第3回 第1候補：11月7日（水）19:00～21:00、第2候補：11月14日（水）

後日、どちらも第一候補の日程で会議を開催することに決定。

（以上）